



令和6年度 学校要覧



早川中学校校歌

作詞 深沢 泉
作曲 近藤幹雄

一、めぐる林に鳥鳴きて

花かげの濃き学びの舎
朝日ただ射すこの丘に
のびゆく若木友われら

二、聞けたぎつ瀬に鳴るひびき

見よ波のほのきらめきを
深山木くぐり湧く水に
育つわれらは銀の魚

三、こたえよ峰の朝雲よ

もえるわれらのまなざしに
輝く星に夢馳せて
進まん道に光あり

早川町立早川中学校

〒409-2713 山梨県南巨摩郡早川町保666

TEL 0556(45)2255

FAX 0556(20)5005

E-mail hayakawa-j@es-jhs.kai.ed.jp

1 学校及び地域の概要

本校は、へき地指定2級の小規模校であり、山梨県の南西部に位置する早川町のほぼ中心にある。本町は、赤石山脈・白根山系と櫛形山系に囲まれた早川沿いの上流文化の町である。東西に15.5km・南北に38km、面積は約370km²、そのうちの約96%は山林となっている。昭和31年に西山・三里・都川・硯島・五箇・本建の旧6ヶ村が合併し誕生した。人口はピークの1万人から947人(本年4月現在)に減少し、人口が全国最小の町である。

町のこれまでの半世紀の歩みは、決して平坦なものではなかった。過疎化・高齢化・少子化・地域産業の衰退などの諸課題を常に町民と行政が一体となって、ふるさと早川を自らが「誇れる町」を目標として地域づくりに取り組んでいる。上流文化圏構想・南アルプス早川山菜まつり・奥山梨はやかわ紅葉と食まつり・山村留学制度など個性ある町づくりを推進している。

本年度は、早川中が創立してから42年目を迎える。合併2年後の昭和60年に、本校と早川北中(西山中と三里中が統合)・早川南中(五箇中と本建中が統合)が統合し、全町1校体制の早川中学校が誕生した。統合当初の生徒数は94名であったが、その後、生徒数は年々減少し、本年度は1年生7名(内アルプス学級1名)、2年生2名、3年生7名(内アルプス学級1名)、合計16名で4学級編制である。校区は広く、主に生徒はスクールバスで通学している。縦割りによる団活動が活発で給食当番や週番活動、学園祭体育部門や体験活動等、全校で活動することが多く、家族的な雰囲気の中で学習している。

生徒は大変明るく素直である。積極的に取り組む姿勢を養うため、極小規模校の利点を活かし、一人ひとりに光を当て、様々な役割を少ない人数で分担し、生徒に自己有用感を持たせていきたいと考えている。学園祭などの諸行事で見せる生徒の輝きは感動的である。

また保護者を含めた地域の人々と、ともに学校をより良いものにしていこうと協力体制を作っている。

2 沿革の概要

昭和58年	4月4日	硯島中学校と都川中学校統合、早川中学校開校
	11月27日	校歌・校章制定 校旗樹立
59年	8月1日	校舎新築起工式
60年	4月1日	早川中学校 早川南中学校 早川北中学校統合
	4月5日	校舎竣工式、この日を学校創立記念日と定める
61年	6月23日	文部省自然教室指定校 早川中学校緑の少年隊を結成 県教委「山梨教育研究推進校」指定(昭和61・62年度)
63年	11月1日	町教委研究指定校として公開研究発表を行う
平成2年	10月14日	緑の少年隊として第14回全国植樹祭に参加
3年	4月1日	文部省「中学校教育課程研究

		校」(平成3・4年度)
4年	11月6日	文部省「中学校教育課程研究校」公開研究発表
	4月1日	文部省「教育課程実施状況調査研究協力校」(平成5・6年度)
	4月5日	創立10周年記念式典「校歌碑・樹根碑」除幕式
5年	3月23日	校庭大改修工事完成
10年	4月1日	町教委・早教協研究センター校指定(平成10・11・12年度)
	5月1日	文部省「へき地学校高度情報化通信設備(マルチメディア)活用方法研究開発事業実施校」(平成10・11・12・13年度)
	6月15日	県教委「交流教育提携校」(平成10年～)
12年	5月26日	「文部省・町教委・早教協研究センター校」公開研究発表
13年	4月10日	県教委「県アクティブ体力づくり地域実践推進校」指定(平成13・14・15年度)
	5月20日	緑の少年隊：第25回全国植樹祭に参加
14年	4月1日	県教委「地域ふれあい道德教育推進校」(平成14年度)
		県教委「勤労生涯学習推進校」(平成14年度)
18年	11月29日	プール大規模改修工事完了
19年	4月1日	文科省「仲間と学ぶ宿泊体験活動推進校」指定(平成19・20年度)
		町教委指定早教協研究センター校(平成19・20・21年度)
20年	10月17日	「全国へき地教育研究大会山梨大会」公開研究発表
21年	11月17日	町教委指定早教協研究センター校公開研究会
22年	2月18日	県学校体育研究連合会「保健体育優良校」受賞
25年	4月1日	文科省「栄養教諭を中核とした食育推進事業実践中心校」指定(平成25・26年度)
26年	4月1日	新給食センター改修工事完了・落成式
	8月22日	校舎窓ガラス飛散防止ガラス交換工事完了
27年	11月30日	普通教室エアコン設置工事完了
28年	11月18日	山梨県へき地教育振興大会の開催
30年	11月7日	町教委指定早教協研究センター校公開研究会
	8月31日	トイレ洋式化工事完了
	9月28日	校舎防水及び屋根工事完了
31年	3月29日	校庭幅跳びレーン改修工事完成
	4月1日	「青少年赤十字活動実践推進校」指定(令和元・2年度)
令和元年	8月24日	全国中学校陸上競技大会 共通男子走幅跳第3位
	2年	11月25日 青少年赤十字研究指定公開研究会

3 学校経営方針

1 学校教育目標

(平成2年制定, 平成17年, 令和5年に一部文言の修正)

校訓 「修文練武」

心を磨き、体を鍛え、確かな学力を身につける

教育目標 自主的精神に富み、母校や郷土を愛し、社会の中でたくましく生き、社会の発展に貢献できる人間の育成。

目指す生徒像

- (1) 心身ともに健康で、明朗な生徒。(体)
- (2) 自ら学び、真理を求める生徒。(知)
- (3) 情操豊かで、みんなのためにつくす生徒。(情)
- (4) 強い意志とたくましい実行力をもった生徒。(意)

目指す学校像

- (1) 生徒にとって、一人一人が大切にされ、安心して学べる学校
- (2) 教師にとって、創意が生かされ働きがいのある学校
- (3) 保護者や地域にとって、開かれた信頼できる学校

目指す教師像

- (1) 心身ともに健康で、豊かな人間性を持つ教師。
- (2) 生徒一人一人を大切にする教師。
- (3) 自己研鑽に努め、互いに学び合い高め合う教師。
- (4) 協働し、組織的な学校作りに努める教師。

2 学校経営の基本方針

《基本的考え》

確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む。

《学校経営方針》

- (1) 早川中教育の伝統を継承しつつ、創意と特色ある教育課程の編成と実施に努める。
- (2) 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、確かな学力を育む指導と評価に努める。
- (3) 自立心や自律性を高め、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことに努める。
- (4) 体育・スポーツ及び健康・安全に関する基礎・基本となる資質や能力の育成に努める。
- (5) キャリア教育の充実を図り、社会や環境の変化に対応できる人間の育成に努める。
- (6) 充実した学習活動を支える、安心・安全な教育環境づくりに努める。
- (7) 家庭や地域社会に開かれた、信頼される学校づくりの推進に努める。
- (8) 教職員としての専門性や指導力を高め、理解と協力の和で結ぶ組織的な学校づくりに努める。

3 学校経営の重点と努力点

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな心の育成
- (3) たくましい体をつくる体育・健康・安全教育の充実
- (4) キャリア教育
- (5) 安心安全な教育環境づくり
- (6) 信頼される学校づくり
- (7) 地域との連携、小・中の連携

4 各領域等の指導重点

- (1) 生徒指導
- (2) 特別活動
- (3) 情報教育・ICT活用
- (4) 福祉教育
- (5) 特別支援教育
- (6) 部活動指導

令和6年度重点目標 「自律と尊重」

自律「自ら考え、判断し、行動する」

・自らをコントロールしながら、目的や意義を考えて行動する。

尊重「違いを理解し、他者を尊重する」

・自ら考え判断するための大切な根拠の一つとする。

5 教育研究

(1) 研究テーマ

「確かな学力を身につけ、自己実現を図ろうとする生徒の育成」

(2) サブテーマ

～誰にでもわかりやすいユニバーサルデザインの視点による授業づくりを通して～

4 組織と編成

1 職員組織

職 名	氏 名	在籍	担 当	現住所
校 長	稲葉 常明	1	学校経営	南部町
教 頭	米山 真	2	学校運営、スクールカウンセラー担当、特別支援コーディネーター	甲府市
教 諭	望月 貴弘	3	1年担任、生徒指導主事、音楽科、音楽部	富士川町
〃	望月 幹夫	1	2年担任、教務主任、理科、陸上部	身延町
〃	望月 大	1	3年担任、進路指導主事、社会科、バドミントン部	南部町
〃	深沢 羊子	1	1年担任、保健体育科、陸上部	富士川町
〃	天野 明佳	3	アルプス学級担任、研究主任、英語科、音楽部	富士川町
〃	千頭和知恵子	2	3年担任、生徒会顧問、国語科、陸上部	早川町
〃	野澤 賢人	1	2年担任、情報主任、視聴覚主任、数学科、バドミントン部	早川町
養護教諭	山口 薫	3	保健主事	南部町
栄養職員	成島 悠	1	学校給食全般、食教育	南アルプス市
事務職員	小宮山 棋	1	学校事務全般	早川町
学校司書	河上 暁代	31	学校図書全般、読書支援	早川町
A L T	フミコ・オースティン・ダイビス	1	英語指導助手	身延町
スクールカウンセラー	今村 亨	12	相談活動	市川三郷町
支 援 員	中込佳那美	1	教育支援	身延町
文 庫 員・学校医	中山 充徳	1	技術、教育支援	身延町
非常勤講師	遠藤友佳子	1	家庭	南部町
〃	前田 幸子	14	美術	南部町
用 務 員	松本 直美	17	用務全般	早川町
学 校 医	朝比奈利明	15	保健管理(内科等)	身延町
学校歯科医	高野 宏文	1	保健管理(歯科)	身延町
学校薬剤師	望月 邦代	30	保健管理(環境衛生等)	早川町

2 年間授業時数

教科等 学年	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健 体育 家庭 英語									道徳	学活	総合	合計
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	体育	家庭	英語			
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

3 日課時間表

	平常6校時	短縮6校時
生徒登校	8:10	8:10
職員打合せ	8:10～ 8:15	8:10～ 8:25
朝の活動	8:15～ 8:25	8:15～ 8:25
朝の会	8:25～ 8:40	8:25～ 8:40
1校時	8:45～ 9:35	8:45～ 9:30
2校時	9:45～10:35	9:40～10:25
3校時	10:45～11:35	10:35～11:20
4校時	11:45～12:35	11:30～12:15
給食	12:35～13:30	12:15～13:10
5校時	13:30～14:20	13:10～13:55
6校時	14:30～15:20	14:05～14:50
清掃	15:25～15:40	14:55～15:10
帰りの会	15:40～15:55	15:10～15:25
部活動等	15:55～	15:25～
生徒下校	季節・行事による(スクールバスの時刻)	
スクールバス	前期 17:40(4月～地区新人戦) 後期 17:00(地区新人戦後～3月)	

5 教育関係者

1 町及び教育委員会

設置者(町長)	深沢 肇
教育長	望月 重美
教育長職務代理人	久本 雅俊
教育委員	大西 信正
教育委員	望月 公隆
教育委員	望月 邦代
教育課長	杉山 浩一

2 PTA役員

会長	望月 大輔	幹事	米山 真
副会長	望月 一彦	監査委員	上原 佑貴
副会長	上原 佑貴		
副会長	市川 仁美		
副会長	稲葉 常明		

6 地域別生徒数及び世帯数

	西山		三里		都川		硯島		本建		五箇		町外		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1年	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	2	0	0	0	3	4
2年	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
3年	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0	5	2
全校	1	0	1	0	2	5	1	0	1	0	3	1	0	0	9	6
世帯数	1		1		7		1		2		3		0		15	

7 教育予算

1 学校予算

学校管理費	5,709,000円
教育振興費	3,929,000円
義務教育経費無償化事業費	3,052,000円
計	12,690,000円

2 PTA予算

114,403円

8 校地校舎

1 所在地 山梨県南巨摩郡早川町保666番地

東 経 138°20'06"
北 緯 35°25'47"
標 高 398メートル

2 面積 校地 12,893㎡

校舎敷地 2,863㎡

校舎 2,481㎡

運動場 6,281㎡

3 校地平面図

